



座間小キャラクター
ざまたん

校長のつぼやき^{ぶ?}

座間市立座間小学校
校長 石田 正行

日頃、気づいたことなどをちょっとずつ、つづやいていきたいと思います。時にはぼやきになってしまうかもしれませんが。なのでつぼやき……。

【ニュースポーツ】



3・4年生の子どもたちが、講師をお招きして、「ベースボールファイブ」という、ニュースポーツを体験しました。

野球の変形版といったらいいでしょうか。

ピッチャーはいません。自分で持ったボールを手で打ちます。3年生はソフトドッジボール、4年生はテニスボールを使っていました。ボールを打ったら、ダイヤモンドを全力で回ります。

守備はというと、ダイヤモンド近くにフラフープが置いてあり、ボールを取った子だけでなく、全員がフラフープに集まり、丸くなってしゃがんだ時点でアウト。

アウトになるまでに通過したベースの数が得点になります。

普通の野球のルールと違って、ランナーだけでなく、守備の子たちも一球ごとに全力で動くので、運動量が多いです。

いつもやっているハンドベースやキックベースは、守備の運動量が少ないので、このルールは画期的。

やはりスポーツは自分が動かないと楽しくありません。そして、終わったときに「たのしかったー、つかれたー」という言葉が出るのがいいですね。

ベースボールファイブは、ルールが優しくて、みんなが楽しめるスポーツでした。とはいえ、国際大会もある奥が深いスポーツです。

【ニュースポーツその2】

4年生がボッチャに挑戦しました。ボッチャはヨーロッパで生まれたスポーツ。重度脳性麻痺や四肢重度機能障がいの方のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

2チーム対抗で各チームが青と赤の球を投げ、白の的玉に近づいている方が勝ち。子どもたちは、ルールが優しいので、すぐになじみ、柔らかい感触のボールを手に、「これたのしー」と興奮していました。静かに進行するイメージがありましたが、子どもたちは大歓声。熱中していました。

ルールはシンプルですが、攻め方、守り方のバリエーションが多く作戦が重要。パラリンピック種目になるのもうなずけます。

障がいのあるなしに関わらず、子どもからお年寄りまで男女問わず楽しめる魅力的なスポーツです。

